

**令和5年度 第1回
和泉市介護保険運営協議会議事録**

開催日時:令和5年7月24日(月曜日) 午後1時30分～

場 所:和泉市役所別館3F 3-1 会議室

出席者:【委員】梅谷会長、佐藤職務代理、坂口委員、北野委員、服部委員、谷上委員、
門林委員、松下委員、松阪委員、溝川委員、河村委員、平田委員、高橋委員
【事務局】吉田副市长、西川部長、奥野室長、有住課長、岩橋課長、寺田総括主幹、古川総括主幹、
奥村総括主査、廣田総括主査、西村総括主査、尾崎総括主査、勝田総括主査
【計画作成支援事業者】株式会社関西計画技術研究所 大内

司会	<p>定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第1回和泉市介護保険運営協議会を開催させていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。私は司会を務めさせていただきます、高齢介護室の廣田です。よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>まず、はじめに、福祉部長の西川から一言ご挨拶申し上げます。</p>
部長	部長挨拶
司会	<p>ありがとうございます。続きまして、本協議会の委員の皆様のご紹介をさせていただきます。(名簿順に紹介)</p> <p>次に、事務局職員の紹介をさせていただきます。(名簿順に紹介)</p> <p>また、本日は、第9期和泉市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定するにあたり、高齢者実態調査を実施し、その結果報告がありますので、本件に関する受託事業者の、株式会社関西計画技術研究所の大内氏に出席していただいております。委員の皆様にはご了承願ひます。</p> <p>なお、本協議会の会長を務められた桃山学院大学の村橋委員が退任されましたことに伴い、本会会則第4条に基づき、会長を選任する必要があります。事務局案としましては後任の梅谷委員に願ひしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
司会	<p>ありがとうございます。では、会長職を梅谷委員に願ひいたします。</p> <p>梅谷会長よりひとことご挨拶を願ひいたします。</p>
会長	会長挨拶
司会	<p>では、議事に入る前に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>先にお配りさせていただきました資料はお持ちいただいておりますでしょうか。</p> <p>会議資料は「会議次第」と「令和5年度第1回介護保険運営協議会資料」です。</p> <p>また、追加資料として机上に「第9期介護保険事業計画策定スケジュール(案)」「策定方針(案)」を配布させていただきます。</p> <p>議事進行につきましては、本委員会規則第6条第1項の規定により、会長が議長となり進行をしていただくことになっております。では、早速ですが梅谷会長に進行を願ひいたします。</p>
会長	それでは始めさせていただきます。本日はお忙しいなか本協議会へご出席、誠にあ

	<p>りがとうございます。本日の協議会は、報告が主なものとなっておりますが、委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただきながら、スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>また、今年度は、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する年であり、委員皆様のご経験やお知恵をお借りしながら、より良い計画を作り上げていきたいと思っていますので、より一層のご協力をお願いいたします。</p> <p>では、最初に、本日の委員の出席状況を事務局よりおねがいします。</p>
司会	<p>はい。本日の出席状況の報告をさせていただきます。</p> <p>総委員数15名に対し、現時点での出席委員13名です。過半数出席いただいております、本委員会規則第7条第2項の規定を満たしておりますので会議が成立することをご報告いたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>さて、本委員会では、「公開基準」に基づきまして、一般公開しております。本日につきましても傍聴を認めておりますが、傍聴希望者がおられませんので、このまま進めてまいります。</p> <p>それでは次第に沿って、順次進めて参ります。</p> <p>まずは、次第3. 報告の①「令和4年度決算見込及び事業報告について」、②「令和5年度予算及び事業計画について」事務局報告願います。</p>
事務局	<p>事務局説明</p> <p>資料1「令和4年度決算見込及び事業報告について」</p> <p>資料2「令和5年度予算及び事業計画について」</p>
会長	<p>只今、報告・説明のあった内容について、なにかご質問等ございますか。</p>
A委員	<p>資料1の決算と資料2の予算について、資料1の決算では160億円と148億円という数字が出ていますが、約1割ですね。まあ多いわけですね。支出もそうですが、どうしてこれだけ齟齬が出たのかなというのが一つの疑問です。</p> <p>それから、資料2の予算について、予算案に対しまして令和5年の予算案と令和4年の予算案を比較していたのですが、令和4年よりも令和5年の予算のほうが少ない。令和4年の予算が非常に大きかったと思うのですが、これは予算で比較するのがおかしいので、例えば資料1の決算を見ますと、決算では収入が148億、支出が145億と、このいわゆるせっかく決算の見込が出ているのですから、見込と言っても7月なので確定だと思いますが、ですからこの予算に対する額がおかしいのではないかなと。特にこの令和4年から令和5年の予算のほうが少ないという組み立てが非常に、マイナスになるのはおかしいのではないかなと。実績からみれば145億に対して160億円、プラス何億ですか、あるいは歳出につきましても160億の計画に対して実績は145億ですから。15億くらい多いわけですがけれども。だからこの予算からしたら少なくなりました、となると思うのですが、実績からみれば10億か15億多くなっていますから。この書き方が少しおかしいのではないかな、あるいはどうして、予算と予算を比較するのだろうということですが。その辺り疑問なのですが、お伺いしたいと思います。</p>

事務局	<p>1点目、資料1について、不用額が多い件については、資料をご覧くださいと、保険給付費の介護サービス給付費において、予算と決算の差が10億あまり出ております。その主な理由としましては、当初予算において、コロナ禍ということで居宅介護サービス費の給付費を、前年度比7億5,030万9千円増の73億7,194万円ほど見込んでおりました。しかし、決算におきましては、想定よりも給付が抑えられまして、その部分で約6億5,000万の不用額が生じているというところでございます。また、総務費においても差が出ているのですが、こちらの地域密着型施設整備事業において、予定していた施設整備、3事業者への補助金が、令和5年度に繰り越しになり、そこでも2億1,728万円の差が生じたものであります。そのような状況の結果、予算との差が大きくなったというものでございます。</p> <p>続きまして、2点目のお話について、実績からみれば予算が過大ではないかというお話をいただいているのですが、予算の設定につきましては、認定者数の伸びや過去3年分のサービス料の増加率などを確認させていただいております。あと施設整備等ですね、そちらも勘案して計算させていただき、予算として計上しております。予算は前年10月に積算することになりますので、その半年間の実績をみて、見込的なところということで予算を算定します。実績と予算が離れているというところのご指摘をいただいておりますが、結果としてそういうことになる場合もございます。伸び率を計算して予算を推計させていただいているところでございます。以上です。</p>
B委員	<p>資料2の2ページ、令和5年度介護保険事業計画の「②要介護（支援）認定者計画数」というところで、要支援認定者のほうはトータルで3,443人の計画、令和4年度は3,354人だったのですが、3,443人と増えており、また要介護認定者にいたっても、令和4年度は5,953人でしたが、6,176人と、計画では増えております。これはやはり、平均寿命が延びて、高齢者がどんどん増えていっていると。そういう現状を踏まえて、要支援、要介護の人が年々増えていく、ただし、ある程度までいくとピークになって、そこからまた減少するのでしょうか、しばらくはこれくらいがずっと続いていくと。そういった考えでよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、委員がおっしゃるとおりでございます。</p>
B委員	<p>ピークはどのあたりですか。</p>
事務局	<p>ピークがもう落ちてきている市町村もあると国のほうからは聞くところもあるのですが、和泉市の場合はまだピークには達しておらず、2040年を少し過ぎたあたりかと想定しています。第9期の介護保険事業計画を策定するにあたり、国の見える化システムという、推計システムで推計を行いますので、またご報告いたします。</p>
会長	<p>今のことに関して若干補足をしますと、本市がどのような状況かというのは、また結果を見てみないといけないのですが、高齢者人口というのは2040年頃までは増加しますが、これからの特徴の一つとすれば、85歳以上人口が増えていくと。85歳以上になると、やはり認定率が高くなっていくというところがあります。どの年齢層が増えていくのか、そして、その年齢層の認定率がどのような状況なのか、そういったことも含めて分析していく必要があるのかなと思います。補足でございました。</p> <p>その他、いかがでございませうか。よろしいでしょうか。</p>

	では、続きまして、報告事項の③「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の進捗」について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	事務局資料3説明 ※資料3 1P目オレンジカフェの参加者数実績 66人⇒123人に修正依頼
会長	1ページ目の一番下、オレンジカフェの参加者数ですね。目標が150人で実績が66人ということで、全体をみたらここの実績の数字が大きく目標と乖離しているので、このあたり、原因は何なのかお尋ねしようと思っていたのですが、ここは先ほど説明がありましたように正しくは123人ということですね。 只今、報告・説明のあった内容について、なにかご質問等ございますか。
C委員	基本目標2の高齢者虐待防止、令和3年度は80件と非常に多いのですが、この事案は重要事案に該当するのかどうか、高齢者虐待はすべて重要事案だとは分かっているのですが、その中でどれくらいの重要事案があったのか、それに対して追跡調査はどうなっているのか、お伺いしたいです。
事務局	令和3年度の80件というところですが、対応させていただいた件数にはなりません。この数値の今後、継続した対応というところは追ってはいりますが、今は手元に資料がございませんので、また個別でご説明させていただければと思います。
会長	この数値の見方、カウントの仕方の確認なのですが、「権利擁護普及・啓発件数」ということで、もしかしたら先ほど説明があったかもしれませんが、具体的にこの「権利擁護普及・啓発件数」というのはどういう形で件数をカウントしているのでしょうか。何か虐待が起こったときの対応なのか、それとも、権利擁護普及なので、何か研修会の件数なのか、私はそこが分かりませんでした。
事務局	虐待対応の普及啓発の件数になっております。先ほどのC委員への説明が間違っておりました。地域のほうで包括支援センターが4圏域ございまして、そちらの職員が町会など、いろいろな会が地域のほうにございまして、そちらに、虐待だけとは限らないのですが、色々、権利擁護に関することについて普及啓発、講座や説明会を開催させていただくものがございます。その件数を示させていただいておまして、令和3年度は1か所の包括が頑張ってくれてくれたので、件数が伸びてはいるのですが、令和4年度は少し実績が減少しているというところですね。それを受けまして、今年度は力を入れていかないといけないというふうに考えております。
会長	このデータで出ているのは、普及啓発の研修等の件数であるということですね。C委員からご質問のあった内容につきましては、また、事務局から個別に対応ということでよろしいでしょうか。よろしくをお願いいたします。
D委員	先ほどおっしゃっていたオレンジカフェの参加者数、66人が少ないと思っていましたら、123人だという説明をお聞きしました。令和5年度で200人の目標となっています。コロナの中で、目標に対して少ないということ、それから施設にお願いをしてオレンジカフェをやっているということで、それ以外に先ほど説明でも聞きました、ふらっとカフェ。これは市の人たちでやっているのですね。その辺りのところで、オレンジカフェももう少し増やしてほしいし、そういう方向づけ、どういう考えをもっていらっしゃるのかなというところ。

	<p>そして、副市長がふらっとカフェに行かれた経験があるとお聞きしていましたので、どんなものだと、体験談をお教え願いたいなということで、よろしく願いいたします。まず、説明のほうを先にさせていただいて。</p>
事務局	<p>まずはふらっとカフェについてご説明させていただきます。ふらっとカフェは先ほどもご質問がありましており、施設カフェのほうがコロナ禍で縮小傾向とお伝えさせていただいたかと思いますが、そこを補うかたちで、市のコミュニティセンターやシティプラザなど、開催場所を市関連施設で実施させていただくことで、開催させていただきました。もともとのオレンジカフェが介護施設などというところで、コロナ禍では開催できないという現状がありましたので、補う形でふらっとカフェを開催させていただいております。</p> <p>今後、コロナ禍が緩和していき、施設カフェのほうがまた充実できましたら、ふらっとカフェは縮小を検討してまいりたいと思っています。また、ふらっとカフェは市関連施設で開催させていただいてはおりますが、今後、もう一つ、より地域に近いかたちで街カフェというものを計画させていただいております。地域の場所で通えるカフェ、身近なところで通えるカフェというかたちで充実を図っていき、参加人数も増やしていきたいというふうに考えております。</p>
事務局 (副市長)	<p>ちょうど1年前ということで、コロナの真ただ中でございました。ですから、事務局からも申し上げましたように、本来は地域で、各施設で、こうしたカフェが行われるべきところ、それが出来ずに、コミュニティセンターでやったということがありました。それでも外出が制限されておりましたので、私がまいりましたときは、いわゆる対象者の方はたった1名しか来ておられませんでした。あとは支援者の方々の集まりでして、私の記憶では十数人くらい、私も含めて、出席していたかなというのが記憶でございます。そうしたことから、とても残念な状況でございましたが、来てくださった対象者の方は大変喜んでおられました。私たちは支援者とはいえ、私も91歳の独居の父を抱えておりますし、支援者といえども、本当は支援してもらわなければならない部分もありまして、私たちの悩みもそこで打ち明けることができ、来られた対象者の方は同じように悩んでいるのは自分だけじゃないのだと、皆同じようなことで悩んでおられるのが分かって、大変気が安らかになったと、喜んで帰っていかれました。</p> <p>コロナが明けましたので、先ほどの説明にもありましたように、各拠点でこういう活動がどんどん増えていけばいいと考えております。以上私の感想です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。認知症に関しましては、国のほうでも認知症基本法が策定されまして、そこで「共生」ということがうたわれておりますので、こういったカフェ、認知症の方が参加できる、そして共生する場として非常に重要だと思いますので、ぜひとも、市としてもこのカフェの普及に向けてご尽力していただければと思います。</p> <p>では、そのほかいかがでございますか。</p> <p>それでは私のほうから一点、今後の提案というか検討事項になるのですが、実績と目標について、例えば5つの基本目標がありますので、それぞれの項目ごとに、事務</p>

	局担当課による考察というか、2行、3行でも構わないと思うのですね、長文ではなくて。この目標と実績を受けて、どんなところに課題があるのか。ないしはどういった取組が上手くいったのかというような講評的な、考察的なものがあると PDCA にもつながっていくのかなと思います。それを毎年度するのか、それとも介護保険事業計画の策定年度、3年に1回するのも含めて検討が必要なのですが、そういうかたちで講評を入れていくと、より見やすくなるのかなと思いますので、一度検討していただければなというふうに思います
事務局	検討していきます。
B委員	いきいきいずみ体操が非常に好評で、あちらこちらで盛んにやっておられます。私のところの地域でも集会所を使ってやっておられるのですが、最近人がいっぱい増えてきています。友達から誘われたと言って他の校区から来たりもして、会場がいっぱいになっている。「あなたは鶴山台南だから南の自治会館でしなさいよ」と言って、この前、南の自治会館を見に行くと、そこもいっぱい手を広げたらあたったりしているようなので、もっと会場というか、教室が増えたらいいなと。だけどそれには、なかなか立ち上げてくれる指導者、そういった人が少ない。なかなか立ち上げられないのですが、その辺り、また市のほうからも、これという人を見つけて、立ち上げていただいたりしていただきたい。本当に来られている人たちは週に1度やっていると、この体操をして、かみかみ体操もしたら、非常にすっきりして良かったと言っておられます。本当にうちのところはいっばいで、「よその町のマンションやろ、上町やから上町でやって」と言っても「うちの近くにない」というので「あんたが立ち上げてやり」と言ったりもしている状況です。教室をもっとあちこちに作っていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。
会長	ありがとうございました。特に今のことに對して事務局からはよろしいですか。では、この報告について、その他いかがですか。よろしいでしょうか。次の報告に移ります。「④高齢者保健福祉及び介護保険事業計画にかかるアンケート調査の結果について」ということなのですが、ここには指針やスケジュールについても合わせて事務局からご説明があるということですので、よろしく願いいたします。
事務局	当日配布資料「第9期介護保険事業計画策定スケジュール(案)」「策定方針」について説明 策定支援事業者にて資料4「和泉市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画見直しにかかるアンケート調査報告(概要版)」について説明
会長	今の説明に對して委員の皆様からご質問やご意見がありましたらよろしく願いいたします。
C委員	先ほど話もしましたが、アンケート調査報告の16ページの権利擁護について、非常に気になることがいっぱい書いてありました。以前にも和泉市の施設であったことなのですが、入所者を裸にして水をかけたりした事案があったということをきいたことがあります。やはり高齢者の虐待で、死者がでている事例もあります。だから、十分に考えて・配慮していただいて、進めていただきたいと思います。

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。虐待につきましては、施設職員等からの虐待と、あとは在宅における介護者等からの虐待とあります。その両方ともに、やはり虐待が起こらないように、そして早期に発見して、予防できるように、そういった対策が求められますので、ぜひとも担当課と虐待予防に向けて施策を検討していくと同時に、日常的にどのような形が良いのか、考えてもらえたらと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>そのほか、いかがでございますか。</p> <p>では、私から。まず一点目、当日配布された第9期介護保険事業計画策定スケジュール案について、日程は大体この日にちということですが、内容ですね。審議の内容、議題については今後もしかしたら若干の変更があるかもしれないという理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>それから、ロジックモデルなのですが、わかりづらいところがありまして、これは今後、本会議において継続的に検討していくということによろしいでしょうか、ということがまず一点。</p> <p>二点目は、この当日配布資料なのですが、「2040年の姿」というのがあって、「第9期」と書かれているのですが、右上に「第9期」とあって「2040年の姿」とある。これは「2040年の姿」を第9期で考えるということなのか、さらに、第9期の中間アウトカムと初期アウトカムがあって、その一番左に第8期のインプットがあるのですが、これは第8期でよいのでしょうか。第9期なのですかね。というのは、目標も変わってくると思うのですね。第9期の計画の。その辺りのつながりがちょっと私には分からなかったのです。担当されている方、補足説明をお願いできますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、継続してこれを検討していくかというところですが、今回お示しさせていただいたものから発展させていって、皆様のご意見をいただきながら、計画をつくっていくのにこちらを使っていきたいと思っておりますので、継続してこちらでやっていけたらと考えています。</p> <p>この資料の記載の仕方について、分かりにくくて大変申し訳ないのですが、第9期と書かせていただいているところにつきましては、今回、皆様に色々ご意見をいただきながら策定するというので案としてお示しさせていただいているもので、第9期の計画の中に最終アウトカムや中間アウトカム、初期アウトカムを新たに考えていけたらというところでございます。</p> <p>本来であれば、その左のインプットにつきましても、第9期のインプットを定めてまいるところなのですが、まだここまで案を書くのが難しいので、イメージが湧くかな、ということで第8期の計画に定めさせていただいているものをそのまま貼り付けさせていただいているところです。つながりを見ていただければという形で、仮に掲載させていただいている参考のものです。</p>
<p>会長</p>	<p>今後、第9期計画の基本目標が議論して固まっていったら、今インプットとして書いている第8期のところに入るわけですね。それと対応した、でも考え方が右から左</p>

	<p>なのであれかもしれないですが、当然、第9期の基本目標が入って、それと初期アウトカム、中間アウトカムが対応しているという、そういうふうな図に最終的になっていく、それをつくっていくということですね。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
会長	<p>分かりました。</p> <p>ここは大事なところなのだろうなと思って、関連しての質問ですが、当日配布資料の「次期和泉市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定方針」というタイトルの最後のページになります。「7. 本計画における本市の成果目標について」の3つめの項目の「施策の結果、各アウトプットが成果目標、アウトカムに対しての効果について検討する」という、この一文が、結構分かりづらい一文だと思いますので、少し考えていただければと思います。</p> <p>かなり説明していただいたように、このロジックモデルはキーの一つになりそうな気はするので、ここの文が、市民の方が読まれてもなるほどね、とすぐに理解できる分かりやすい文章にする必要がありますので、一度検討をお願いします。</p> <p>ひとまず私からは以上ですけれども、委員の皆さんはいかがでしょうか。</p>
E委員	<p>アンケートの結果のところでは少し教えてもらいたいのですが、21 ページのところの、先ほどもありましたけど、「介護保険サービスの利用状況等について」というところで、入居等を希望しているか、していないか、サービスを使っているか、使っていないか、ということで、「検討していない」というのはなぜか、という理由もとっていたのでしょうか。サービスを使っていない理由など。検討していない理由によって、今後の、例えば住む場所や、これからのニーズで考えて増やさないといけない、減らさないといけないものが若干変わってくる内容だと思うのですが、その辺りの状況はどのように捉えられているのかなと思ったのですが。</p>
事務局	<p>こちらについて、なぜ検討していないかというところまでは質問しておりません。ただ下の「介護保険サービスの利用状況」で「利用していない」と答えた人の理由については、次のページに記載させていただいております。施設の申し込み状況のところではないのですが、介護保険サービスを利用していないのはなぜですか、ということは聞いておまして、それでいうと「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」というところが一番多いという結果でございました。なぜ検討していないかというところではないのですが、利用していない理由というのはこちらの項目になります。</p>
E委員	<p>利用していない理由は分かるのですが、利用していても今後どういう形でするか考えていかないところの理由で、色々、状況があると思うんですね。経済的なところなのか、家族関係のところなのか。それによって考えていくもの、準備していくもの、先ほど他の委員もおっしゃっていたように、強化しないといけないところというのも若干変わってくるのかなと思うので、その辺りがどうなのか、少し教えていただきたいかったです。</p>
会長	<p>その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>この資料4のアンケート調査報告につきましては、今後、第9期の計画を検討するう</p>

	<p>えで非常に重要な資料の一つになります。ですので、こういったデータに基づいて計画を考えていくということは大切ですので、これも参考にしながら、今後、基本目標等々を検討していけたらと思います。</p> <p>このアンケートに関して、これは可能であれば、検討していただきたいのですが、例えば第8期では5つの基本目標がありますよね。その5つの基本目標ごとに関連するアンケートの結果を整理していただいたら、その目標がどうだったのか、PDCAのCの部分にもなるし、第9期の基本目標を考えていくうえでの参考になるかもしれないので、もしかしたら第9期の目標は小幅に変わるのか、それとも新たに大幅に変わるのか、それによって、その辺りは今後検討が必要ですが、いずれにせよこの第8期の目標ごとにさらに分けていただけると、このデータがさらに見やすくなるのかなと思いますので、その辺りの整理を可能であればしていただいて、次のこの会議でも出してもらえるとより良い議論が出来て良いのかなと思いますので、一度考えてみてください。</p> <p>その他、いかがでございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>繰り返しになりますが、ロジックモデルが少し分かりづらいところがありましたので、今後、継続的に検討していくということで、次回はさらに分かりやすい資料をどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>そうしましたら、本協議会の報告事項は以上で終了になりました。先ほどスケジュールを見ていただきましたように、今年度、本協議会の開催回数は非常に多くなっておりまして、皆様方には大変ご負担をおかけしますけれども、何卒ご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>では、続きまして4番のその他について、事務局、あと委員の皆様から何かございましたらよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。では事務局からは何かありますか。</p> <p>特にないようですので、以上で本協議会の議事および報告事項はすべて終了となります。委員の皆様はどうもありがとうございました。</p> <p>では、この後の進行は事務局にお任せいたします。</p>
司会	<p>会長、委員の皆様、ご意見ご指導のほどどうもありがとうございました。</p> <p>これを持ちまして、令和5年度第1回和泉市介護保険運営協議会を終了とさせていただきます。</p> <p>引き続き、地域密着型サービス委員会に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局 (副市長)	<p>最後になりますが、人の入れ替わりもあるようですので、私からこの前段の協議会についての御礼のご挨拶をさせていただきたいと思います。</p> <p>今、市長と私とで手分けをしまして、市民代表の皆さんとの議論に直接参加をさせていただいているところでございます。目的は2つで、1つはマネジメントをしっかりとやるということと、もう1つは行政案を承認していただいたり、アライズづくりをするような場ではなくて、市民の皆様方の意見をしっかりと聞いて、行政案をつくっていくような流れをつくっていきたいと思ったところでございます。そうしたことが</p>

ら、本協議会へのコメントをさせていただくことを持って、御礼のご挨拶にさせていただきたいと思います。

先ほど申しましたような流れで、今、3つの改革を進めているところでございます。1つは、前回出ていた質問やご意見については、次回の冒頭で「前回、こういう質問がありました、意見がありました」ということから始まる資料をしっかりと添えて、次回の冒頭できっちりとご説明することができるようにいたします。

2つめの改革はPDCAでございます。PDCAを回すためには、ツールを作ることが大切なのですが、和泉市もそこまではようやく、何とかやれました。後は、この品質を高める必要があるわけでございます。例えばですけれども、なぜ実施してできなかったのか、という分析も含めて、委員の皆様からのご意見をうかがえるようにきちっと文字化する、見える化する必要があるかなと思っています。具体的なイメージとしては、アンケート報告を先ほどし、そこに何行か文章が書いてありましてけれども、これらは分析ではなくて集計です。私たちとしてこの数字を捉えてどう考えるか、どう展開していくかということも分析でして、それをしっかりと見える化する必要があると考えております。

そういう意味では、最初にご指摘をいただいた予算の話とか、要支援者が増えていますよねと、これを今後どう考えているのですかということが、まさに分析でありまして、そういうことについては記述が薄かったかなと反省をいたしております。それから資料3の実績と目標についても、分析の説明が無かったものもありましたし、何よりも、会長からご指摘がありましたように、分析内容が書かれていないと、それは欠落していたかなと思いますので、今後そこは改めていきたいと思っております。

それから、高齢者虐待についてのご意見もいただきました。この大きなロジックモデルの表の、第8期計画ではありますが、第8期計画の基本目標2の(1)の③のところに、実は盛り込まれておりますので、今のご意見を受けまして、次の基本目標には高齢者虐待の啓発ではなくて、高齢者虐待を実際に減らすのだという目的意識をもって、施策を検討していきたいと考えております。

いきいきいずみ体操につきましては、これを活性化するということが目標だったので、今やそれが活性化されすぎて、拠点が少ない、なり手が少ないということが過大になっているわけですので、やはり時とともに私たちの課題意識も変えていく必要があるかなと思っています。

そして、市民意識調査についてのご意見がございました。なんでサービスを受けないのかということですね。大変ごもつともだと思っております。私たちがこういう調査をするときは行政目線で、行政のサービスの視点から市民意識調査をつくりがちなのですが、やはり市民目線に立って、何が困っておられるのか、市民にとって何が必要なのかという視点の調査が弱い傾向があります。今後、もう一つ市民意識調査の事業を用意しておりますので、そちらのほうで、主に市民の皆さん方が今何に困っているのかということに視点を当てた調査を行っていかうと、準備しているところでございます。

最後に、次回お示しする案には委員の皆様方の意見を反映する形にしたいので、ゼ

ひご意見をお寄せいただきたいと思います。

私はマネジメントの専門家ですので、今日出たような基本的な考え方には満足しておりますけれども、一方ではあまり夢がないかなと。夢とロマンがこの策定方針と
いうか、考え方にはないかなと思っておりますので、ぜひそうしたことを中心に、皆様方のほうから夢ある和泉市の高齢者福祉、あるいは介護保険事業についてのご提言をいただければ、それに基づいて私たちも実務をつくっていきますので、引き続きよろしくご指導賜りますように、この協議会については、いったん区切りとさせていただきますと存じます。

委員の皆様には大変お忙しい中、ありがとうございました。